

表紙裏（新しき世界へ 1970 年 7 月号）

四十五年七月

『神の国』『こころの世界』『魂のふるさと』

を知らないと言う程恐しい大きな罪はないでし

よう。この外の罪はこれくらべると、みな小さいケチな罪です。問題になりません。この罪をおかさないと言うこと、即ち『こころの国』を知ると言うこと、『神の国』に生きると言う事が出来ない限り、人はこの世で楽しく生きてゆく事は何も出来ません。もちろん、ねうちのある仕事などは出来っこありません。キット病気になるか不幸になるかです。一切の病気と不幸は正しい世界観をもっていないからか、まちがった指導原理をもっているからです。「道を知ることこそ唯一の善であり、これを知らざることこそ唯一の悪である」

ーエビイテタス

（食養人世読本より）

本文の複写、複製、転載、その他いかなる方法による使用の際には日本 CI 協会にご相談ください